

一般質問

六月定例県議会での

質問者と質問項目

質問項目は、紙面の都合上、一人四項目まで掲載しています。詳細は、千葉県議会ホームページ等で確認できます。

六月二十日(水)



小松 実 議員 (共産党)

- 放射能汚染対策
- 震災被害を受けた地場産業の支援
- 学校等の耐震化
- 歴史教科書問題



今井 勝 議員 (自民党)

- 震災の復興支援と国道・県道の整備
- 放射線量の測定
- 手賀沼を生かしたまちづくり
- 県内の中小もつくり企業を担う人材の育成



吉本 充 議員 (自民党)

- 東日本大震災被害によるノリ養殖業復旧対策
- 地上デジタルへの移行に伴う難視聴地域対策
- メガソーラーの可能性と浅間山跡地利用
- 教員免許制度の改善、その問題点

六月二十二日(木)



鈴木 衛 議員 (自民党)

県立学校施設の地域開放

- 江戸川第一終末処理場
- 行徳橋
- 災害時要援護者避難支援プラン
- と災害時救急医療体制



秋林 貴史 議員 (公明党)

- 震災対策
- 難病の患者家族会との連携
- 防犯対策
- 松戸市立病院



江野澤 吉克 議員 (自民党)

- 袖ヶ浦椎の森工業団地
- 道路問題
- 交通安全対策
- 石油コンビナートにおける火災
- 爆発事故



湯浅 和子 議員 (民主党)

- 脱原発に向けて
- 女性の視点で防災計画を
- 放射能マニュアルの見直し
- 避難児童のカウンセリングの役割



武田 正光 議員 (自民党)

- 放射能の小児への影響
- 再生可能エネルギー
- 県内経済問題
- 都市計画見直しの基本方針

六月二十四日(金)



鶴岡 宏祥 議員 (自民党)

医療問題

- 茂原にはる工業団地
- 道路、河川問題
- 農業問題



小宮 清子 議員 (市民ネット・社民・無所属)

- 空間放射線量の基準を年間1ミリシーベルト以下に
- 美浜区磯辺の液化化問題
- 柏原VOC調査と健康調査の結果
- 千葉県生涯大学校



松戸 隆政 議員 (みんなの党)

- 放射能問題
- エネルギー政策
- 東日本大震災後の財政運営
- 中高一貫教育の推進



秋山 光章 議員 (自民党)

- 福島第一原発事故に係る風評被害の払拭
- 観光立県ちばの取り組み
- 館山工業団地用地の活用方策
- 館山港小型桟橋



坂下 しげき 議員 (自民党)

- 平成二十三年度財政見直し
- 道路の安全性の確保
- 海水中の放射能濃度測定
- 行徳橋・妙典橋



天野 行雄 議員 (民主党)

医療問題(医師・看護師不足)

- の対応
- 入スポーツ立県千葉の実現(施設整備)
- 震災対策(帰宅困難者対策)
- 「チーバくん」を活用した千葉県の活性化



山中 操 議員 (自民党)

- 県営水道
- 高齢者対策
- 県立美術館
- 教育問題



内田 悦嗣 議員 (自民党)

東日本大震災からの復旧・復興

- 対策
- 羽田空港騒音問題
- 選挙制度



松下 浩明 議員 (自民党)

- 東日本大震災対策
- 国勢調査の結果を踏まえた地域振興策・山武市真行寺地区史跡
- 千葉県のマイス事業施策
- 受動喫煙防止対策



斉藤 守 議員 (自民党)

高等学校での日本史の必修化

- 中学校の教科書採択
- 自衛隊
- 拉致問題



矢崎 堅太郎 議員 (民主党)

- 復旧・復興計画
- 液化化対策
- 被災者支援対策
- 放射能汚染



渡辺 芳邦 議員 (自民党)

- 震災対策
- エネルギー問題への取組
- アクアラインの交通渋滞問題

6月定例県議会 知事あいさつ

6月定例県議会の開会にあたり、当面する諸問題についてご報告します。

まず、東日本大震災の被災地の復旧及び復興について申し上げます。

県の災害対策本部については、地震発生直後から、県内被災状況の把握、応急対応に当たってまいりましたが、今後は被災者の生活再建支援や産業の再生など復旧・復興に向け、本格的に取り組んでいくことから、5月26日に廃止いたしました。なお、各部署には強い余震に備え、速やかに対応できるよう指示しました。

また、福島第一原子力発電所事故の影響に対しては、庁内の連携をより一層密にして適切に対応してまいります。

さらに、「千葉県震災復旧及び復興に係る指針」を年内を目途に策定するとともに、県内の防災対策を一層強化し、災害に強い千葉県づくりを推進します。

県では、これまでも放射性物質の監視体制強化や風評被害への対応などを講じるよう、国に申し入れてまいりました。今後も、被災者の声を踏まえ、必要な対策について国に働きかけてまいります。

次に、「がんばろう!千葉」キャンペーンについて申し上げます。

4月下旬に募集を始めた「ちば産品応援隊」では、県産農林水産物の購入など、県内農林水産業を応援していただいております。5月下旬からは、自粛ムードで打撃を受けている本県観光を応援する「ちばめぐり隊」の募集を始め、5月11日、12日に観光イベント「千葉から日本を元気に!」を開催し、本県のほか、東北3県及び茨城県とともに全国へ元気を発信しました。

また、夏休み期間中は、「夏の観光キャンペーン」を実施するなど、1日も早い観光需要の回復を目指します。さらに、「ちば節電協力隊」を募集し、夏の電力供給不足に対し、全県的に節電に取り組んでいきます。

今後も、県民・企業・団体の方々と一丸となって、大いにこの運動を盛り上げ、千葉から日本を元気にしていきたいと考えています。

震災直後から、首都高速道路の一部通行止めによる大渋滞が発生したため、東京湾アクアラインは、都心部の迂回道路として機能を発揮し、首都圏の交通ルートの確保に大きな役割を果たしたことで、私は、アクアラインは、首都圏においてなくてはならない重要な道路であることを再認識いたしました。

アクアラインは、これまでも、料金引き下げの社会実験により、県内や首都圏経済の活性化に大きな役割を果たしています。

アクアラインは引き続き料金引き下げが維持され



ています。県内観光を復興していく視点からも、アクアラインをより一層活用していただき、「がんばろう!千葉」キャンペーンと一体となり、千葉の観光をアピールしてまいります。

続いて、夏期における節電対策について申し上げます。

今回の大震災に伴い、電力の供給不足が見込まれています。「計画停電」に至らないよう、一層の節電対策に取り組むことが重要です。

このため、4月に設置した「千葉県省エネルギー等対策推進本部」において公表した夏期の節電対策では、「ピークに賢くみんなで節電!」という、基本的な考え方に立ち、使用最大電力の前年度比15%削減を達成するための取り組みを紹介し、今後、さまざまな広報媒体を通し、広く呼び掛けてまいります。また、県庁舎については、25%削減を目標に、徹底した節電対策に取り組めます。

最後に、「千葉県保健医療計画」の改定について申し上げます。

本県の医療提供体制の確保に関する事項を定める「千葉県保健医療計画」について、平成23年度から27年度までの計画として改定いたしました。

本県では、今後、全国2位のスピードで高齢化が進むことから、医療施設や医療従事者のさらなる不足が懸念されるため、本計画に基づき、医療機関同士、さらには福祉分野との連携体制の充実・強化、在宅医療の充実、医師や看護師人材の確保や育成などの施策を展開してまいります。

このほか、平成23年度千葉県一般会計補正予算など、提案された議案の概要説明がありました。

大野 眞 議員逝去



大野眞議員(印旛郡選出自由民主党)が平成二十三年六月三日に逝去されました。同議員は、平成十九年四月以来連続二期、四年余にわたり、千葉県議会議員として県の発展に貢献され、その間、文教常任委員会委員長、健康福祉常任委員会副委員長など要職を歴任されました。